

第8回ブラジリア日本祭り

山田大使挨拶（2019年6月29日）

ご来賓の皆様、そして日本を応援して下さっている全ての皆様、こんにちは。

「第8回ブラジリア日本祭り」が盛大に開催されることを大変嬉しく思います。そして、主催されている中西部日伯協会連合会のルイス・ニシカワ会長、クニヨシ・ヤスナガ日本祭りコーディネーターをはじめ、本祭りの実施にご尽力されているすべての皆様にお祝いを申し上げます。

7年前にブラジリア日本語モデル校の一角で始まった「ブラジリア日本祭り」は、昨年は約4万人の参加者を集めました。本祭りが年々より多くの市民の皆様に愛され、ブラジリアの代表的行事として発展していることを本当に喜ばしく思います。

日本から渡伯した方々・そのご子息は、これまで多くの試練を乗り越え、伯の発展に貢献するとともに、様々な形で日本文化を普及してこられました。こうしたことを背景に、現在伯には1万人以上を集客する日本祭りが50件以上もあるそうです。これは世界一と言ってよいでしょう。そのお陰で、和食、武道・太鼓・生け花・書道等の伝統文化、アニメ・マンガ等のポップカルチャーをはじめ、多様な日本文化が広く伯に根付いています。

ブラジリア日本祭りはこうした多様な日本文化を知って頂く本当に素晴らしい機会だと思います。日本国大使館としても、日本酒の試飲会や将棋のワークショップ、日本留学の説明会、来年に控えた東京2020オリンピック・パラリンピックの広報を行うほか、少女マンガのパネル展を実施したり、日系人歌手のジョー・ヒラタさんに素晴らしい唄を披露して頂きます。

本祭りを通じて日伯の文化交流がますます大きく盛り上がること、より多くの皆様が日本文化への親しみを持って頂くこと、そしてより多くのブラジル人の皆さんが日本を訪れてくださることを祈念して私の挨拶とさせていただきます。ムイト・オブリガード。

(了)